

読書感想文の書き方・書かせ方(初等部・中等部・保護者の皆さんへ)

ニュージャーシー補習授業校(五月十九日)

読書感想文を、得意技にしていましよう。そうすると一生の宝になります。

国内でも有名な毎日新聞読書感想文コンクールに応募してみましよう。夏休み中に書いておくのです。そして八月の最初の授業の日に、担任の先生に出しましよう。

この読書感想文の書き方は、**作文教育の第一人者**といっても過言ではない宮川俊彦先生(国語作文教育研究所長)から学んでいます。

感想文の三つの柱

【②の主題は、登場人物の気持ちや行動を見ていくとわかってきます。】

- ① どんな本か？
↓ だれが出てきて、何をしてお話か？
- ② 何について書かれている本か？
↓ この本で、作者は何を言いたかったのか？(主題は何か？)
↓ もし、君がこの本の中にいたら、君はどうした？
- ③ 読んでどう思ったか？
↓ 「なぜ？」と思ったところをさがそう。

○感想文ラクラク組み立て理論

★作文と同じく、いちばん感動した場面だけを切り取って「なぜ」感動したかを書けば、りっぱな感想文になります。

- ① まず、テーマをさがす (発見)
←
- ② 次に、自分の気持ちをつかむ(把握)
←
- ③ 最後に「もしも自分だったら」と考える(仮定)
←
- ④ 感想・意見を書く(主張)・・・「感想・意見」は、「もしも」「たとえば」「どうして」という言葉をキーワードに使って考えて書いてみよう。

○名人テクニック三原則

- ① 本を客観的に見よう↓無理に「感動」を書かなくてもよい。**批判、反対意見**を書いてもよい。
- ② 感想は後から書こう↓「ラクラク組み立て理論」を使って、**最後に感想・意見**を書く。
- ③ 本のまわりを見てみよう↓本のデザイン、大きさ、あとがき、作者の写真、作者の名前など書くヒントは、あちこちにある。

×やっつけないけない三原則 (少し反省する人もいるかも?)

- ① あらすじだけを書く
- ② ひと言だけでまとめる↓「おもしろかった。」「また読みたい。」
- ③ 本を読まない↓読まずに、書く。

「まだまだ書けません!」と思っている人へ・・・うらのページを読んでみましょう。

次の●を参考にし、あなたの好きな理論で書いてみましょう。

●意見押し出し理論

← **意見** (わたしはこう思った)

← **理由** (なぜなら、だって)

← **例①** (文中の場面を例にする)

← **例②** (自分の体験を例にする)

← **もしも** (自分の考えを話に合わせて述べる)

← **だから** (「もしも」より深い意見を書く)

← **できあがり**

●感想ひたひた理論

← **きっかけ** (本との出会いを書く)

← **印象** (心に残った場面を書く)

← **例** (似たような自分の体験を書く)

← **もしも** (自分がくだったら)

← **なぜ** (登場人物はなぜくしたか)

← **意見** (自分は、こう思う)

← **できあがり**

●自分にこだわる理論

← **例** (自分のことを書く)

← **比較** (本の中身と自分のことを比べてみる)

← **検討** (作者の考えやテーマについて書く)

← **意見** (自分は、それについてくと思う)

← **できあがり**

●テーマ追求理論

- ← **予想** (作者の考えていることはくだと思ふ)
 - ← **断定** (この本のテーマはくについてである)
 - ← **理由** (なぜかといえはく) その理由や例
 - ← **だから** (作者はくという意見なのだ)
 - ← **意見** (自分は、それについてこう考える)
- できあがり

●問題発見理論

- ← **選択** (本の中できくことや問題を選ぶ)
 - ← **発見** (選んだ内容について、テーマを探す)
 - ← **例** (同じテーマの文章を、本の中からさがす)
 - ← **推理** (そのテーマについての作者の意見を書く)
 - ← **意見** (テーマについての自分の意見を書く)
- できあがり

感想文も作文と同じく、書き出しが大切です。このように書くときスラスラ書けます。やってみましょう。

① その本を読んだ動機から書き出す。

『空飛び猫』。この題がきっかけで、この本を読み始めた。
なぜかというところ……

② 作品の中の一場面から書き出す。

メロスが眠り込んでしまったとき、わたしは心配でたまらなくなりました。……

③ 感動の中心から書き出す。

星になるなんて、悲しすぎる。いくらみにくいからといって……

④ 自分の体験から書き出す。

三年生のとき、ぼくはこの本の作者と同じように、外国の町に手紙を出したことがある。……

⑤ 「もしも」から書き出す。

もしも、ぼくがそうなんして、たったひとり、無人島に流れついたとしたら……

【保護者の皆様へー校長から】

私が若い頃から、学校では、読書感想文を書かせることについて、賛否両論がありました。

「無理に感想文を書かせると、書けない子は、読書が嫌になる。読書嫌いを作らないために書かせない。」

「*いかに*論理のすり替えはないでしょうか？ 皆さんはどうお考えでしょうか？」

わたしは、「感想文の書き方を指導する。書けるようにする。自信を持たせる。そして、本も好きにする。読書も好きにする。

国語力の基本を養う。」と考えます。